



フィールドスタディの取り組み



本学は、「地学地就」、つまり地域に関する知識を有する人材育成及び学生の現場力、地域力を高めることなど、実践教育活動を必要欠くべからざるものと考えています。こうした考えにもとづき地域実践活動を学生参画型で行うことにより、本学の学生の実践教育、教員の教育・研究活動をより多くの方に知っていただき、地域のみなさまとのさらなる連携を実現していきたいと思います。

1 芳賀地区の農家との共同生産と販売

—清水白桃と野菜を対象に—

2018.4月～1ヶ月間に6回以上

岡山市芳賀佐山、
赤磐市

経営学部有志：39名

●農作業の経験を通して、空き農地を減らすため、作業だけでなく、商品開発や販売の提言をする。

商学科 松井 温文 教授



2 真鍋島小・中学校・公民館合同運動会への参加

2018.5.19

笠岡市真鍋島

法学部：3名、経済学部：3名、

経営学部：4名、商学科：3名

●規模が縮小する地元運動会を盛り上げるため吹奏楽部と共に参加。

●借物競争他に出場、準備後片付けも手伝う。

●終了後は用意くださったカレーを食べながら島の人と交流した。

商学科 三好 宏 教授

経済学科 石原 憲 講師（吹奏楽部顧問）



3 真鍋島にんにく収穫活動

2018.6.2

笠岡市真鍋島

商学科：3名

●昨年開墾をお手伝いした畑で収穫支援。

●特産品化を目指す「にんにく醤油漬け」は、イベント等で販売支援も実施。

●山陽新聞笠版で写真入りで紹介された。

商学科 三好 宏 教授



4 日ようび子ども大学・キッズマネー教室開催

2018.6.3

大学コンソーシアム岡山

商学科 FP コース

1～2年生：15名

●大学コンソーシアム岡山の日ようび子ども大学にて「キッズマネー教室」を開催。

●FPコース2年生が中心となり、参加小学生49名に対して小学生向け金融リテラシー教育を行った。

商学科 海宝 賢一郎 准教授



5 日生カキオコまちづくりの会主催 日生海のそば試食検討会

2018.6.9

カキオコ協賛店

きたろう

(備前市日生地区)

商学科：2名

●夏の閑散期対策として地元海産物を入れた新メニュー・塩焼きそばを開発する試食検討会で、日ごろ同会に協力している学生が意見を述べた。

商学科 三好 宏 教授

産学官連携センター



6 発想法ワークショップ 瓦工事協同組合西日本ブロック大会

2019.1.12～13

岡山商科大学 リーセントカルチャーホテル

経営学科：1名、商学科：11名

●瓦工事協同組合西日本ブロック大会の参加者と学生たちが今後の瓦業界の在り方について、楽しくワークショップするというもの。

●「瓦のあるゆかいな暮らし」をテーマに、ブレインストーミング、KJ法を行った。

商学科 三好 宏 教授

社会総合研究所



6 大川村梅収穫祭

2018.6.17

高知県大川村

商学科：2名

●自宅の裏山に桜を植え全国から多くの人を集める川上氏が主催する地域イベントに参加。

●前日から宿泊し、地域づくりへの想い等をヒアリングした。

商学科 三好 宏 教授



62 たまの農山漁村魅力向上推進協議会 農泊モニターツアー

2018.11.24～25

玉野市内

留学生：10名

●地元の観光団体が用意したプログラムを留学生が体験し、改善点等の意見を出す。

●壺網漁、温泉など盛り沢山のメニューに対し、楽しみながら多くの意見を出すことができた。

商学科 三好 宏 教授

産学官連携センター



13 キッズマネー教室開催

2018.8.10

吉備信用金庫本店（総社市）

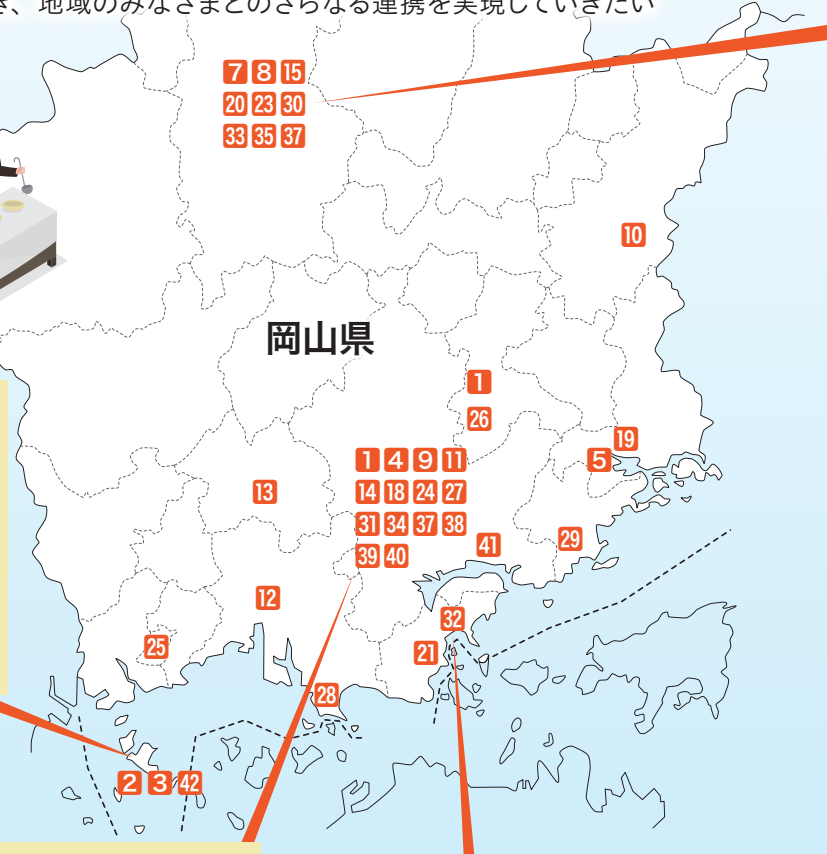
商学科 FP コース

1～2年生：20名

●吉備信用金庫主催の「キッズマネー教室」を開催。

●FPコース2年生が中心となり、参加小学生50名に対して小学生向け金融リテラシー教育を行った。

商学科 海宝 賢一郎 准教授



23 AZAE プロジェクト 北房お大師めぐり・蔵開きイベント調査

2018.9.22～23
旧北房町、皆部（あざえ）商店街（真庭市）
商学科：6名
●北房観光の新たな資源となりうるお大師めぐりを体験調査。
●別のグループは皆部地区にある酒蔵のイベント客にアンケート調査を実施し、次年度に向けた課題などを提言。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



8 AZAE プロジェクト キックオフ・ワークショップ

2018.7.5
皆部（あざえ）商店街（真庭市）
経営学科：2名
商学科：15名
●地元と本学が協働するまちづくりプロジェクトのスタートイベントを、授業「地域マーケティング」の実習も兼ねて実施。
●学生と若手事業者が一緒になって北房の観光についてディスカッションした。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



15 AZAE プロジェクト 皆部小学校 CLT 見学会イベント他

2018.8.25～26
真庭市北房地区
商学科3年：4名
●皆部小がCLT構造の校舎に建て替えられたことによる見学会で、観光協会の模擬店で地元産品を販売・観光PRに協力。
●外国人向けゲストハウス宿泊体験調査、関係者と交流も行う。
商学科 三好 宏 教授



16 東京研修

2018.8.28～29
日本銀行、東京証券取引所、貨幣博物館
経済学部2～3年生有志：11名
●日本銀行、東京証券取引所、貨幣博物館へ見学に行った（3年生については、日銀グランプリへ提出する論文の調査も兼ねて）。
経済学科 井尻 裕之 准教授



18 インターンシップ研修

2018.9月、12月、2019.1月
山陽新聞社、テレビせとうち、トマト銀行
経済学部3年生有志：3名
●研修先（山陽新聞社、テレビせとうち、トマト銀行）へ学生を派遣した。後日、一部の研修では各担当者の方々を招き、報告会を実施した。
経済学科 井尻 裕之 准教授



19 海のそばワークショップ

2018.9.1
備前市日生地区
商学科：2名
●新メニュー海のそばを提供する店舗を、日生まちづくりの会会長らと食べ歩き調査。
●ウェルカムボードの作成、お好み焼き店以外の店に、協働を呼び返る活動も行う。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



20 観光地計画論

2018.9.6～9、2018.9.9～12
湯原温泉、真庭市
経営学科：1名
商学科：15名
●観光客に対するインタビュー調査や、観光施設の観察調査を踏まえて、道の駅の商品改善策を提案した。
●旅館や飲食店の経営者に、経営状況に関する聞き取り調査を実施し、現状を踏まえた改善策を発表した。
商学科 大石 貴之 准教授
西 春奈 助教



21 発想法ワークショップ 玉野ゴルフ倶楽部

2018.9.14
玉野ゴルフ倶楽部（玉野市）
商学科：5名
●本学OBが経営する（株）大川会計様よりの依頼で実施。
●学生と倶楽部従業員の方々が混じり、お客様を満足させる方法をプレスト、KJ法によるまとめを行った。
商学科 三好 宏 教授
社会総合研究所



9 エコナイトでの発表、平成 30 年 7 月 豪雨災害の募金活動

2018.7.14
岡山市春連町商店街
法学科：1名、経営学科：2名、商学科：11名
●例年廃品活用の射的ゲームや本学が関係する地域の特産品を販売していたが、豪雨災害が起きたため、復旧支援募金活動に変更。
●発表タイムでは、本学のフィールドスタディの取り組み報告。
商学科 三好 宏 教授



10 海田天日干し番茶プロジェクトへの協力

2018.7.21、2018.7.30～8.2
美作市海田地区
経営学科：1名
商学科：10名
●一昨年から伝統的番茶製法と茶畑景観の保存に取り組む地元団体の番茶製作へ協力。
●今年は地元の方の参加が少なく、代表者とほぼ商大生だけで番茶を作る。
●いただいた番茶を袋詰めし、学祭、近隣のイベント等で適宜販売も実施。
商学科 三好 宏 教授



11 浪漫ディック奉還祭での「税金ゲーム」運営補助

2018.7.28
岡山市春連町商店街
経営学科：2名
●岡山西法人会より依頼があり、第24回浪漫ディック奉還祭にて行われる「税金ゲーム」の運営補助。
産学官連携センター



12 「備前醤油の歴史・現状・展望」の調査研究のためのフィールドスタディ

2018.8.3
とら醤油株式会社（倉敷市酒津）
商学科：14名
●高梁川沿いに店舗・醸造場を有するとら醤油株式会社において、工場見学を実施し、同社の歴史や現状について説明を受けた。
商学科 天野 雅敏 教授



14 中国四国農政局インターンシップ

2018.8.20～31
農林水産省中国四国農政局（岡山市）
商学科：3名
●中国四国農政局との包括連携協定に基づくインターンシップ。
●期間中5日間にわたり、農泊に関するHP、パンフの作成を行った。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター

17 テーマパークデザイン論

2018.8.28～31
徳島県名西郡神山町
商学科：7名
●神山町における地域づくりの現状を把握するため、移住者や地域づくり活動を実践する方々に聞き取り調査を実施した。
●地域づくりを実践している組織の活動に参加し、地元住民や移住者との交流を実施した。
商学科 大石 貴之 准教授、ソ コンゾン 講師、西 春奈 助教



7 湯原温泉のイベント協力 （露天風呂の日、はんざき祭り）

2018.6.25～26、2018.8.7～9
湯原温泉（真庭市）
商学科：7名（露天風呂の日）、商学科：13名（はんざき祭り）
●湯原温泉におけるイベント（露天風呂の日はんざき祭り）に関する運営補助を行った。
●はんざき祭りでは、商大のフィールドスタディを紹介する他、学生が製作にかかわった地域の特産物を販売した。
商学科 大石 貴之 准教授



22 「リノベーションまちづくり」 現地視察、空き家再生事業に関する調査

2018.9.14～9.15
鳥取県鳥取市
商学科FPコース
1～4年生有志：8名
●鳥取市中心市街地での「リノベーションまちづくり」および鳥取市鹿野町における空き家再生事業に関する視察およびヒアリング調査を行った。
商学科 海宝 賢一郎 准教授



24 キッズビジネスパーク

2018.9.24
コンベックス岡山
経済学科：5名
経営学科：28名
商学科：14名
●学生が店長となって、企業の方や高校生と共に一つの職業ブースを運営し、子どもたちの就業体験のサポートを行うことにより、子どもを通して働くことや社会の仕組みについて学習する。
商学科 海宝 賢一郎 准教授
産学官連携センター



25 里庄まこもたけブランド化推進 検討支援事業

2018.9.25～10.13、
2018.11.3、11.20、
2019.2.1
里庄町
商学科：10名
●まこもたけ新規生産者への収穫支援（5日間）と、ヒアリング調査・ワークショップ等を通じて生産者増、ブランド化の方策を検討した。
●学生の意見をもとに新規生産者募集チラシや収穫作業マニュアルを作成。
●4年生3名がこのテーマで卒論を作成した。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



26 農林水産総合センターフェアにおける真鍋島にんにく加工品販売

2018.10.13
岡山県農林水産総合センター（赤磐市）
商学科：1名
●連携している「真鍋島ニンニク栽培研究会」の模擬店出店への商品販売協力を行った。
商学科 三好 宏 教授

27 カキオコブース出店協力

2018.10.20
2018.11.10～11
リプレゼンターびぜん
岡山県総合グラウンド
商学科：3名
（備前焼まつり）
商学科：5名
（岡山マラソン）
●カキオコまちづくりの会がイベント出店するのを協力。
●ソースを塗る等カキオコの仕上げ、販売呼び込み、行列整理、代金授受等を行い、賑わいをもたらした。
商学科 三好 宏 教授



28 発想法ワークショップ梟亭

2018.10.25
梟亭
（倉敷市児島地区）
商学科：4名
●玉野ゴルフ倶楽部に続き、（株）大川会計様よりの依頼。
●隠れ家的、独特な建物という大きな特徴を持つ梟亭をさらに面白くするにはというテーマで、学生と従業員がディスカッションした。
商学科 三好 宏 教授、社会総合研究所



29 空き家活用に関するヒアリング調査

2018.11.5～12.19
瀬戸内市（瀬戸内市役所）
商学科FPコース2年生：4名
●瀬戸内市役所との協働で、瀬戸内市内における空き家再生に関わる事業者等へのヒアリング調査を実施した。
商学科 海宝 賢一郎 准教授



30 竹灯籠づくり

2018.11.17
真庭市社地区
法学科：1名、経営学科：2名、商学科：1名
●社地区の大晦日のイベント「第3回やる竹あかり」用の竹灯籠を地区の子どもたちや岡山県立大学の学生と共に作成。
産学官連携センター



31 おかやま大学生人権啓発パートナーシップ補助事業「つぼみ」講演会

2018.11.20
岡山商科大学
犯罪被害者支援サークル「つぼみ」の学生：20名（法学部法学科）
●平成30年度 岡山県おかやま大学生人権啓発パートナーシップ補助事業に採択され、石黒由美子氏をお招きして講演会を行った。
犯罪被害者支援サークル「つぼみ」
法学科 加藤 摩耶 准教授



33 AZAE プロジェクト 北房お大師めぐり再調査

2018.11.29
旧北房町（真庭市）
●北房お大師めぐり88ヶ所のまわりきれなかった箇所を再調査。GPSを使って正確な場所を調査すると共に、北房の暮らしや文化を学ぶ。
産学官連携センター長 大崎 紘一
産学官連携センター



34 実践型ワークショップ（岡山商工会議所共催）

2018.12.1
岡山商科大学
経済学科：1名、経営学科：1名、商学科：8名、短期留学生：1名
●恒例となっている商工会議所との共催のワークショップ第8回目。
●学生と一般参加者が、ブレインストーミングとKJ法を行った。
商学科 三好 宏 教授



35 日本の農村 お大師めぐり お寺体験モニターツアーへの参加協力

2018.12.1～2
真庭市北房地区
商学科：3名
●地元観光協会が主催する外国人モニターツアーに学生が参加し、その模様を調査した。
●外国人に日本文化の価値が伝わるか、ツアー運営の課題等を指摘した。
商学科 三好 宏 教授



36 平成30年度人生100年時代の社会 人基礎力育成グランプリ（中国・四 国地区予選大会）への参加

2018.12.1～2
松山大学
経済学部：3年生（有志4名）
●経済学部より2チーム出場した。残念ながら最優秀賞は逃し、全国大会へ出場はできなかったが、優秀賞と奨励賞を獲得した。
経済学科 井尻 裕之 准教授



37 湯原温泉旅行プラン作成ワークショップ

2018.12.4、
2018.12.18、
2019.2.1～2
湯原温泉（真庭市）、
就実大学
商学科：6名
●湯原温泉の卒業旅行プランを考えるワークショップを就実大学の学生と実施。
●就実大学でのアイデア出しや、湯原温泉での視察調査を踏まえて、実際の旅行プランを作成し、発表した。
商学科 大石 貴之 准教授



39 京山公民館 ESD フェスティバル

2019.1.26～27
岡山市北区京山地区
商学科：4名
留学生：2名
●海田番茶やにんにく醤油漬、ホルタルどんぼ連携している地域の特産品を販売。
●イベント内で実施された防災に関するワークショップには留学生・日本人学生が参加し、体験や意見を述べた。
商学科 三好 宏 教授、産学官連携センター



40 事業者別ワークショップ フジ印刷株式会社（岡山商工会議所共催）

2019.2.5、14
岡山商科大学
経営学科：1名
商学科：7名
●商工会議所の小規模企業支援推進事業として実施。
●同社が開発中のカードゲームを学生が2回にわたり実際に体験し、改善点等その感想・意見を述べたというもの。
商学科 三好 宏 教授、社会総合研究所



41 事業者別ワークショップ 光田住建（岡山商工会議所共催）

2019.2.7
光田住建
（岡山市西大寺）
経営学科：1名
商学科：8名
●商工会議所の小規模企業支援推進事業として実施。
●学生が2グループに分かれ、同社の新しい事業展開に関する計250程のアイデアを出した。
商学科 三好 宏 教授、社会総合研究所



42 真鍋島の観光振興

2019.3.2～3
笠岡市真鍋島
経営学科：1名
商学科：2名
●研究ブランディング事業として、観光プラン作成に向けた調査を実施。
●真鍋島ニンニク栽培研究会や観光関係者等へヒアリング、実地調査を行った。
商学科 三好 宏 教授

